

第10回ユース部全国代表者会議を開催しました！！

平成27年2月7日(土)から8日(日)の2日間、第10回ユース部全国代表者会議を山口県下関市にて開催し、全国の若手組合員21名の参加がありました。今回は下関市職員組合の小賀委員長と牧野書記長のご厚意で、自治労連関係者であれば誰でも知っている「遊福旅館」で開催し、ご多用中にも関わらず、中尾友昭 下関市長もお見えになり挨拶をいただきました。

会議ではまず、我々の生活や組合活動に重要な関連をもつ人事院勧告について、制度内容やこういった形で勧告が出されるのかなどを理解してもらうために解説を行いました。人事院勧告は国家公務員を対象にしているものであるから、それを地方公務員にも適用させるのかどうかという点が議論となる部分であり、そのために組合交渉が行われることや、給与制度の総合的見直しについては、今まさに交渉の最中にある単組もあることを話し、人事院勧告と組合交渉が密接な関係にあることを伝えました。人事院勧告や給与制度については、日頃意識して学ぶことがないだけに今後の職員生活にプラスとなる研修になったのではないかと思います。

次に、研修①として、「ユース世代の目線で新規採用職員や未加入職員を勧誘するためのオルグ内容を考案する」ことをテーマに、4つの班に分かれてグループワークを行いました。また、分かりやすいプレゼンテーションの仕方について学習し、グループワークで出来上がった案について、翌日、研修②として、班別にプレゼンテーションを行いました。グループワークでは、各単組の現状を分析するための情報交換から始まり、ターゲットをどこに絞るか、どこに重点を置いて勧誘するかなど、終始活発な議論が交わされました。

また、2日目、研修②のプレゼンテーションでは、各班前日のグループワークの内容について、それぞれの個性を活かした特色のある発表を行いました。寸劇によって勧誘の場面を表現した班などもあり、笑いもある和やかな雰囲気の中でのプレゼンテーションとなりましたが、インパクトのある発表の数々に参加者のプレゼンテーション能力は大いに向上したと思います。

会議の最後には、来年度のユース部全国代表者会議についてと、ユース世代単組間交流会について協議を行いました。

ユース部全国代表者会議については、代表者会議とはなっているが、研修や勉強できる誰でも参加できるような会議にしようとするなど参加しやすいなどの意見が出され、ユース世代単組間交流会については、次回、大村市が担当して開催することが決まりました。

ユース部全国代表者会議は、次世代を担う組合員の育成と交流を目的に開催していますが、今回の会議を通して、相互の親睦が図れ、様々な情報交換ができたことは、参加者の大きな財産になったことと思います。

ちなみに言うまでもなく、同旅館にて行った懇親会も、下関市名物であるフグを始めとする美味しい料理に舌鼓を打ちながら大いに大いに盛り上がったことを申し添えます。

★裏面に参加者に対しておこなったアンケートの結果を掲載していますので、合わせてご覧ください。



中尾友昭市長あいさつ



グループワークの様子



プレゼンテーションの様子



集合写真

「おもてなしエキスパート認定講座」を開催しました！！

平成27年1月18日(日)に東京都北区 北とぴあで一般社団法人『日本おもてなし推進協議会』(日本のおもてなしを考える会)の古川智子理事長を講師にむかえ、「おもてなしエキスパート認定講座」を受講しました。

今回の講座では、そもそも「おもてなし」とは何かを学び、相手に好感を持っていただくためにはどうすればいいのかという視点で、日本の老舗で今も脈々と受け継がれている「お客様本位」の姿勢を学びながら「おもてなしの心」を育むことができました。

あなたに一度会ってしまったら、あなたの所に一度行ってしまったら、他の誰かに会っても、他のどこに行っても、「何か物足りない・・・」と思っただけのような、自治労連らしい「目線を大切にしたい」考え方や行動を意識し、より質の高い公共サービスの実現に向けて取り組んでいきましょう。



第10回自治労連ユース部全国代表者会議 アンケート

1. 今回のユース代表者会議には、どのようなスタンスで参加しましたか？

- A 積極的な気持ちで参加 (自ら参加を希望した) 5
- B ごく普通な気持ちで参加 (誰もいなければ参加しようくらい) 15
- C 消極的な気持ちで参加 (その気はなかったが、参加者がいなくて指名された) 1
- D その他 () 0

2. 現在、組合に加入してどれくらい経ちますか？

- A 15年以上 0
- B 10年以上15年未満 1
- C 5年以上10年未満 6
- D 5年未満 14

3. 解説「人事院勧告について」はどうでしたか？

- A しっかり理解できた 7
- B 難しい点もあったが、わりと理解できた 12
- C 少しだけ理解できた 2
- D 全く理解できなかった 0

4. 「人事院勧告について」を受けて、特に印象に残った点を記入してください。

- ・2%減額(給与)について、国家公務員は手当等で対応できるが、地方公務員はそういう手当が無い為、素直に受け入れるか交渉するしかないことを知った。何の為に組合があるのか再認識させられた。
- ・今まで自分の給与についてあまり考えたことがなかったけど、今回の研修で少し興味を持ちました。
- ・人事院勧告が国家公務員が対象なのは少し知ってましたが、手当等により実質的にマイナスはないというのは驚きでした。不利益を受けかねないのは地方公共団体なのに。
- ・給与改定の仕組みが少し分かって良かった。今までなんとなくしか分かっていなかったが今日解説を聞いてこれからは民間給与がどうなっているかなども気かけようと思った。とても分かりやすく良かったです。
- ・給与勧告の骨子について、きちんと読み込んだことがなかったので印象に残りました。
- ・民間賃金水準の低いグループとされる県に含まれる単組にとっては、今回の人事院勧告が特に重大な出来事であるということ。
- ・公務員の給与が民間との比較で算出されていることは知っていたが、民間調査を綿密に行っていることは知らなかった。また、国家公務員に合わせ地方公務員の給与も反映されている中で、その他の経費が発生していることを知った。
- ・西書記長の説明が分かりやすく良かった。また、勧告については、若年層の部分には配慮してある所が理解できて良かった。日頃、あまり「人事院勧告」のことで勉強する機会がないので、こういう機会があつて良かったと思う。
- ・団体交渉に向けた流れ・仕組みがよく分かった。
- ・勧告はあくまで国家公務員に向けてのものであり、市町村では実情に合わせて組合が交渉を行う必要がある点。
- ・今の地方公務員の現状が理解できた。国家公務員との違いの説明(からくり)は印象に残った。
- ・詳しく知らなかった人勧について、流れやH26年度の内容を理解できた点。
- ・何も考えずに給料を頂いていましたが、その裏では必死に交渉をしてくださっていたので、これからは組合活動も頑張っていきたいと思いました。
- ・宮崎県人事委員会勧告では俸給表見直しを容認するというので、組合活動の重要性を改めて感じた。
- ・宮崎県が賃金の低い12団体に入っていてビックリしました。
- ・宮崎県が12県の内に入っていた点。
- ・普段なんとなくしか知らなかったことが、勉強できたことが良かった。
- ・国と地方との違い。

5. 研修①「グループワーク」の進め方(グループワーク自体)はどうでしたか？

- A とても楽しかった、役に立った 21
- B 特に感想はない、可もなく不可もなく 0
- C この研修は必要ない、つらかった 0
- D その他 () 0

6. 「グループワーク」で扱った題材「効果的なオルグを考える」はどうでしたか？

- A 良い勉強になった・・・・・・・・・20
- B 自分には難しかった・・・・・・・・・1
- C 題材として適当ではないと思った・・・・・・0
- D その他（ ）・・・・・・0

7. 「グループワーク」を受けて、特に印象に残った点を記入してください。

- ・一人では考えつかなかった事が、複数いたら簡単に出た。色んな意見が聞けて良かった。
- ・他の市の現状を聞くことができたこと。
- ・他のユースの皆さんは色々と勉強されているんだなと感じました。私自身今回ユース研修が初めてだったので、まだまだ勉強不足だと思いました。
- ・他市では組合に入っていない人が多いところがあったり、おもしろいイベントを考えてるところがあったりして、今後新採の人に説明するときにも役に立ちそうだった。
- ・どの単組も同じような問題を抱えていることが分かった。それに対していろいろと意見交換ができて良かった。
- ・他の単組の状況を聞くことができ、新しい視点から新採の勧誘を試してみようと思えた点。
- ・難しい課題であるが、考える+話し合う機会がなかったので良かった。
- ・他の単組が抱える課題が様々あるということ。また、他の単組が実施している事業を聞いたことは大変参考になった。
- ・他単組の状況を知ることができた。今後地元に戻った時に自分たちの状況をよく見つめ直したいと思った。
- ・班の方と色々な情報交換ができて良かった。
- ・普段なかなか考えようとしないうことをみんなと話し合えて大変勉強になった。
- ・他の市の状況を知れた点。私の町では自治労連のみのため、他の市の方の勧誘方法等組合員を増やす取組みが新鮮であり、勉強になった点。
- ・事業計画の立て方、役割の大切さが印象に残った。
- ・各単組の状況と、各個人の考える効果的な手法を聞いた点。
- ・効果的なオルグを考え、意見を出しあうことで色々な自治体の意見が聞けて良かった。
- ・他単組の現状等、意見交換をしながらオルグを考えることができたので、今後の活動につなげたい。
- ・オルグの仕方が各単組バラバラだったこと。自治労連が多い自治体も多いこと。
- ・他の組合の現状を聞くことで、自分の組合の改善点が見えてきたように思う。持ち帰りたい。
- ・組合員の増加・強化に向けて、協議できたことが良かった。
- ・各単組の実情や課題がよく分かった。
- ・各単組毎、様々な状況があり、勉強になりました。

8. 研修②「プレゼンテーション」の進め方（プレゼンテーション自体）はどうでしたか？

- A とても楽しかった、役に立った・・・・・・・・・21
- B 特に感想はない、可もなく不可もなく・・・・・・0
- C この研修は必要ない、つらかった・・・・・・0
- D その他（ ）・・・・・・0

9. 「プレゼンテーション」を受けて、特に印象に残った点を記入してください。

- ・ターゲットをしばって勧誘をすることも大事だった。
- ・劇をまじえて発表したこと。
- ・班によって色んな意見があったり、プレゼンがあったりで面白かったです。
- ・寸劇もあり、いろいろな意見を聞けて良かったです。
- ・発想がなかったアイデア等も聞けてためになった。
- ・各市の状況と現状分析ができたのが良かった。また、新採の勧誘についてはどこも同じ認識があることに気づいた。（情報の発信、身近な先輩から声掛け、気軽な参加を呼びかけ等。）
- ・楽しんで見れる要素が取り入れられていて良かった。（劇）
- ・他の班の発表で参考になるものがあったので、自分の単組でも検討してみたい。
- ・各市町で現状が全く違っていった点。いろんな意見が出たので、それぞれにあった対策ができればと思った。
- ・班の方と協力して寸劇をまじえて発表できて、とても楽しかった。充実した研修で良かったです。
- ・各班、趣向を凝らした発表で楽しかった。（劇など）
- ・他市の状況、勧誘の工夫など、様々な意見が聞けた点。
- ・他の班の内容を聞いてとても参考になった。

- ・女性に限定など、ターゲットを絞った勧誘。特化した内容を行う。
- ・違った視点や意見を聞くことができ、これからの組合活動に活かしていきたいです。
- ・劇。
- ・各単組の違い、人事院勧告。
- ・よりターゲットをしぼる活動計画を立てる必要があると感じた。SNSを使うというのはいいように思った。考えてみたい。
- ・各単組の考えを楽しく理解できた。それぞれの個性が光っていました。持ち帰って自分達の課題に反映させたいと思います。
- ・B班のコント。特典について考えてみたいと思いました。

10. 2日間をとおして、ズバリ何が一番心に残りましたか？（1つだけ）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| A 解説「人事院勧告について」・・・2 | B 研修①「グループワーク」・・・7 |
| C 研修②「プレゼンテーション」・・・2 | D 協議「次年度の計画について」・・・0 |
| E 懇親会・・・・・・・・・・・・・・・・10 | F 行き帰りの道中（観光など含む）・・・0 |
| G その他（ ）・・・0 | |

11. ユース代表者会議の魅力は何だと思えますか？（複数回答可）

- | |
|--------------------------------------|
| A 様々な学習（講義、研修など）ができること・・・・・・・・8 |
| B 他の単組の情報（現状や事業など）が得られること・・・・・・・・15 |
| C 普段行かない地域（県外など）に行けること・・・・・・・・10 |
| D 他の単組の参加者と交流（飲み会など）ができること・・・・・・・・17 |
| E 特になし・・・・・・・・・・・・・・・・0 |
| F その他（ ）・・・・・・・・0 |